

Ver 1.2

高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙
モニタリング計画書

プロジェクト名	大正町森林組合温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト ～山、川、海、自然が人が元気です～
プロジェクト代表事業者名	大正町森林組合 代表理事組合長 伊与木 豊

提出日 2011年6月30日 (Ver.1.0)
受理日 2011年 7月 5日 (Ver.1.0)
提出日 2011年7月27日 (Ver.1.1)
提出日 2011年8月6日 (Ver.1.2)
最終版提出日 2011年8月10日 (Ver.1.2)

1 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収・排出				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	四万十町大正、希ノ川、市ノ又に立地するスギ・ヒノキ林分100.03haにおける吸収量 (詳細は別添資料2(吸収算定表)による)	CO2	
地下部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。		CO2	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
該当無し				

II. 算定式 (方法論項目5)

4. 純吸収量の算定

$$\begin{aligned} \Delta C_{total} &= \Delta C_{FM} - \Delta C_{Base} \\ &= 1446.56 - 0.00 = 1446.56 \text{ t-CO}_2 \quad \text{※詳細は別添資料2(吸収量算定表)のとおり} \end{aligned}$$

ΔC_{total} 人為的純吸収量(t-CO₂)
 ΔC_{FM} 森林経営活動(間伐)に基づく、CO₂吸収量(t-CO₂)
 ΔC_{Base} 森林経営活動(間伐)対象地のベースラインCO₂吸収量(t-CO₂)

5. 吸収量の算定

$$\begin{aligned} \Delta C_{FM} &= \Delta C_{AG} + \Delta C_{BG} \\ &= 1151.12 + 295.44 = 1446.56 \text{ t-CO}_2 \end{aligned}$$

ΔC_{AG} 地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量(t-CO₂)
 ΔC_{BG} 地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量(t-CO₂)

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\begin{aligned} \Delta C_{AG} &= \sum_i \Delta C_{AG,i} = \sum_i (Area_{Forest,i} \times \Delta Trunk_{sc,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44/12) \\ &= 183.65(2010年度) + 484.55(2011年度) + 482.92(2012年度) \\ &= 1,151.12 \text{ t-CO}_2 \end{aligned}$$

$\Delta C_{AG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量(t-CO₂/年)
 $Area_{Forest,i}$ 各階層iにおいて森林施業(間伐)が実施された森林の面積(ha)
 $\Delta Trunk_{sc,i}$ 高知県民有林収穫表に基づく、階層iにおける単位面積当たりの幹材積の年間成長量(m³/ha/年)
 BEF_i 階層iにおける幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数
 WD_i 階層iにおける成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数(t/m³)
 CF 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率(0.5)
 i 1,2,3,...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\begin{aligned} \Delta C_{BG} &= \sum_i \Delta C_{BG,i} = \sum_i (\Delta C_{AG,i} \times R_{ratio,i}) \\ &= 47.13(2010年度) + 124.37(2011年度) + 123.94(2012年度) \\ &= 295.44 \text{ t-CO}_2 \end{aligned}$$

$\Delta C_{BG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量(t-CO₂/年)
 $R_{ratio,i}$ 階層iにおける地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量に、地下部を加算補正するための係数
 i 1,2,3,...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

ベースライン吸収量は0となる。

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

なし

Ⅲ モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリングポイント No.	小班名			パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [ha]	備考
	施業 NO	林班	小班									
S1	60	138	3	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法	間伐が実施された箇所ごとに、モバイルマップパーGX又はデジタルコンパス、トウルーパルス200を用いて測定	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	2.92	間伐後に写真撮影を行う
H1	61	138	3	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	3.89	
H2 -1	85	137	1,2,3	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	6.19	
H2 -2	113	137	1,3	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	3.18	
H2 -3	114	137	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.80	
H2 -4	118	137	1,2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	2.19	
S2 -1	112	137	1	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.34	
S2 -2	84	137	2,3	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.13	
S2 -3	115	137	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.88	
S2 -4	117	137	1	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.18	
H4	116	136	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	3.64	
S3	145	134	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.28	
H5	146	134	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.36	
S4 -1	123	82	1	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.64	
S4 -2	127	82	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.48	
S4 -3	135	82	2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.33	
H6 -1	124	82	1	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	2.14		
H6 -2	128	82	1,2	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	4.94		
H6 -3	120	82	1	Area _{Forest}	間伐面積	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.91		

Ⅲ モニタリング詳細—活動量—(方法論項目5)

モニタリングポイント No.	小班名			パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [ha]	備考
	施業 NO	林班	小班									
H6 -4	129	82	2	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.65	
H6 -5	130	82	2	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.45	
H6 -6	131	82	2	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.34	
H6 -7	134	82	2	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.93	
H3 -1	97	137	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.79	
H3 -2	147	137	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.56	
H7	99	130	6	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.10	
H8 -1	104	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	3.73	
H8 -2	105	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	2.67	
H8 -3	107	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	4.31	
H8 -4	110	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	3.57	
S5 -1	106	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.88	
S5 -2	108	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.30	
S5 -3	109	134	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	1.12	
S6	119	134	5	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	0.76	
H9	139	159	4	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	8.67	
S7	79	154	1,2	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	14.00	
H10	80	154	1,2	Area Forest	間伐面積	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	14.78	

Ⅲ. モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.1)

モニタリング ポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパ ターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班									
S1	60	138	3	スギ	BEF	拡大係数	「京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する報 告書」に基づく方法	樹種・林齢ごとに拡 大係数を決定する。	吸収量算定時	不要	1.23	スギ43年生 (2010年度施業)
H1	61	138	3	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ43年生 (2010年度施業)
H2 -1	85	137	1,2,3	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ51年生 (2010年度施業)
H2 -2	113	137	1,3	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ44年生 (2010年度施業)
H2 -3	114	137	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ45年生 (2010年度施業)
H2 -4	118	137	1,2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ44年生 (2010年度施業)
S2 -1	112	137	1	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ44年生 (2010年度施業)
S2 -2	84	137	2,3	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ51年生 (2010年度施業)
S2 -3	115	137	2	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ45年生 (2010年度施業)
S2 -4	117	137	1	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ44年生 (2010年度施業)
H4	116	136	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ39年生 (2010年度施業)
S3	145	134	2	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ39年生 (2010年度施業)
H5	146	134	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ39年生 (2010年度施業)
S4 -1	123	82	1	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ43年生 (2010年度施業)
S4 -2	127	82	2	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ53年生 (2010年度施業)
S4 -3	135	82	2	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ46年生 (2011年度施業)
H6 -1	124	82	1	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ43年生 (2010年度施業)
H6 -2	128	82	1,2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ53年生 (2010年度施業)
H6 -3	120	82	1	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ29年生 (2011年度施業)

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5) (NO.1)

モニタリングポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班									
H6-4	129	82	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
H6-5	130	82	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6-6	131	82	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6-7	134	82	2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ46年生 (2011年度施業)
H3-1	97	137	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ42年生 (2011年度施業)
H3-2	147	137	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ51年生 (2011年度施業)
H7	99	130	6	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H8-1	104	134	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ40年生 (2011年度施業)
H8-2	105	134	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ38年生 (2011年度施業)
H8-3	107	134	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ37年生 (2011年度施業)
H8-4	110	134	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
S5-1	106	134	4	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ38年生 (2011年度施業)
S5-2	108	134	4	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ37年生 (2011年度施業)
S5-3	109	134	4	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ43年生 (2011年度施業)
S6	119	134	5	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ51年生 (2011年度施業)
H9	139	159	4	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
S7	79	154	1,2	スギ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.23	スギ45年生 (2009年度施業)
H10	80	154	1,2	ヒノキ	BEF	拡大係数			吸収量算定時	不要	1.24	ヒノキ45年生 (2009年度施業)

Ⅲ モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.2)

モニタリングポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班									
S1	60	138	3	スギ	Rratio	拡大係数	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づく方法	樹種ごとに拡大係数を決定する。	吸収量算定時	不要	0.25	スギ43年生 (2010年度施業)
H1	61	138	3	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ43年生 (2010年度施業)
H2 -1	85	137	1,2,3	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ51年生 (2010年度施業)
H2 -2	113	137	1,3	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ44年生 (2010年度施業)
H2 -3	114	137	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ45年生 (2010年度施業)
H2 -4	118	137	1,2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ44年生 (2010年度施業)
S2 -1	112	137	1	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ44年生 (2010年度施業)
S2 -2	84	137	2,3	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ51年生 (2010年度施業)
S2 -3	115	137	2	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ45年生 (2010年度施業)
S2 -4	117	137	1	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ44年生 (2010年度施業)
H4	116	136	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ39年生 (2010年度施業)
S3	145	134	2	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ39年生 (2010年度施業)
H5	146	134	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ39年生 (2010年度施業)
S4 -1	123	82	1	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ43年生 (2010年度施業)
S4 -2	127	82	2	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ53年生 (2010年度施業)
S4 -3	135	82	2	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時	不要	0.25	スギ46年生 (2011年度施業)
H6 -1	124	82	1	ヒノキ	Rratio	拡大係数	吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ43年生 (2010年度施業)		
H6 -2	128	82	1,2	ヒノキ	Rratio	拡大係数	吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ53年生 (2010年度施業)		
H6 -3	120	82	1	ヒノキ	Rratio	拡大係数	吸収量算定時	不要	0.26	ヒノキ29年生 (2011年度施業)		

Ⅲ. モニタリング詳細ー各種係数ー(方法論項目5) (NO.2)

モニタリングポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班		Rratio	拡大係数							
H6 -4	129	82	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
H6 -5	130	82	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -6	131	82	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -7	134	82	2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ46年生 (2011年度施業)
H3 -1	97	137	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ42年生 (2011年度施業)
H3 -2	147	137	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ51年生 (2011年度施業)
H7	99	130	6	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H8 -1	104	134	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ40年生 (2011年度施業)
H8 -2	105	134	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ38年生 (2011年度施業)
H8 -3	107	134	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ37年生 (2011年度施業)
H8 -4	110	134	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
S5 -1	106	134	4	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.25	スギ38年生 (2011年度施業)
S5 -2	108	134	4	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.25	スギ37年生 (2011年度施業)
S5 -3	109	134	4	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.25	スギ43年生 (2011年度施業)
S6	119	134	5	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.25	スギ51年生 (2011年度施業)
H9	139	159	4	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
S7	79	154	1,2	スギ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.25	スギ45年生 (2009年度施業)
H10	80	154	1,2	ヒノキ	Rratio	拡大係数			吸収量算定時		不要	0.26	ヒノキ45年生 (2009年度施業)

Ⅲ モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.3)

モニタリング ポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班		WD	補正係数							
S1	60	138	3	スギ	WD	補正係数	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づく方法	樹種ごとに容積密度を決定する。	吸収量算定時	不要	0.314	スギ43年生 (2010年度施業)	
H1	61	138	3	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ43年生 (2010年度施業)	
H2 -1	85	137	1,2,3	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ51年生 (2010年度施業)	
H2 -2	113	137	1,3	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ44年生 (2010年度施業)	
H2 -3	114	137	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ45年生 (2010年度施業)	
H2 -4	118	137	1,2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ44年生 (2010年度施業)	
S2 -1	112	137	1	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ44年生 (2010年度施業)	
S2 -2	84	137	2,3	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ51年生 (2010年度施業)	
S2 -3	115	137	2	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ45年生 (2010年度施業)	
S2 -4	117	137	1	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ44年生 (2010年度施業)	
H4	116	136	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ39年生 (2010年度施業)	
S3	145	134	2	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ39年生 (2010年度施業)	
H5	146	134	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ39年生 (2010年度施業)	
S4 -1	123	82	1	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ43年生 (2010年度施業)	
S4 -2	127	82	2	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ53年生 (2010年度施業)	
S4 -3	135	82	2	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.314	スギ46年生 (2011年度施業)	
H6 -1	124	82	1	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ43年生 (2010年度施業)	
H6 -2	128	82	1,2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ53年生 (2010年度施業)	
H6 -3	120	82	1	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時	不要	0.407	ヒノキ29年生 (2011年度施業)	

Ⅲ モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

(NO.3)

モニタリング ポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班		WD	補正係数							
H6 -4	129	82	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
H6 -5	130	82	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -6	131	82	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -7	134	82	2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ46年生 (2011年度施業)
H3 -1	97	137	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ42年生 (2011年度施業)
H3 -2	147	137	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ51年生 (2011年度施業)
H7	99	130	6	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H8 -1	104	134	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ40年生 (2011年度施業)
H8 -2	105	134	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ38年生 (2011年度施業)
H8 -3	107	134	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ37年生 (2011年度施業)
H8 -4	110	134	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
S5 -1	106	134	4	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.314	スギ38年生 (2011年度施業)
S5 -2	108	134	4	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.314	スギ37年生 (2011年度施業)
S5 -3	109	134	4	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.314	スギ43年生 (2011年度施業)
S6	119	134	5	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.314	スギ51年生 (2011年度施業)
H9	139	159	4	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
S7	79	154	1,2	スギ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.314	スギ45年生 (2009年度施業)
H10	80	154	1,2	ヒノキ	WD	補正係数			吸収量算定時		不要	0.407	ヒノキ45年生 (2009年度施業)

III モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.4)

モニタリングポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班										
S1	60	138	3	スギ	CF	比率係数	「京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書」に基づく方法	炭素比率	吸収量算定時	不要	0.5	スギ43年生 (2010年度施業)	
H1	61	138	3	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ43年生 (2010年度施業)	
H2 -1	85	137	1,2,3	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ51年生 (2010年度施業)	
H2 -2	113	137	1,3	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ44年生 (2010年度施業)	
H2 -3	114	137	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ45年生 (2010年度施業)	
H2 -4	118	137	1,2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ44年生 (2010年度施業)	
S2 -1	112	137	1	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ44年生 (2010年度施業)	
S2 -2	84	137	2,3	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ51年生 (2010年度施業)	
S2 -3	115	137	2	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ45年生 (2010年度施業)	
S2 -4	117	137	1	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ44年生 (2010年度施業)	
H4	116	136	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ39年生 (2010年度施業)	
S3	145	134	2	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ39年生 (2010年度施業)	
H5	146	134	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ39年生 (2010年度施業)	
S4 -1	123	82	1	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ43年生 (2010年度施業)	
S4 -2	127	82	2	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ53年生 (2010年度施業)	
S4 -3	135	82	2	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ46年生 (2011年度施業)	
H6 -1	124	82	1	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ43年生 (2010年度施業)	
H6 -2	128	82	1,2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ53年生 (2010年度施業)	
H6 -3	120	82	1	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ29年生 (2011年度施業)	
H6 -4	129	82	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ41年生 (2011年度施業)	

Ⅲ モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.4)

モニタリング ポイント No	小班名			樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班									
H6 -5	130	82	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -6	131	82	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -7	134	82	2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ46年生 (2011年度施業)
H3 -1	97	137	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ42年生 (2011年度施業)
H3 -2	147	137	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ51年生 (2011年度施業)
H7	99	130	6	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H8 -1	104	134	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ40年生 (2011年度施業)
H8 -2	105	134	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ38年生 (2011年度施業)
H8 -3	107	134	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ37年生 (2011年度施業)
H8 -4	110	134	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
S5 -1	106	134	4	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ38年生 (2011年度施業)
S5 -2	108	134	4	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ37年生 (2011年度施業)
S5 -3	109	134	4	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ43年生 (2011年度施業)
S6	119	134	5	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ51年生 (2011年度施業)
H9	139	159	4	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
S7	79	154	1,2	スギ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	スギ45年生 (2009年度施業)
H10	80	154	1,2	ヒノキ	CF	比率係数			吸収量算定時	不要	0.5	ヒノキ45年生 (2009年度施業)

Ⅲ モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.5)

モニタリング ポイント No	小班名			樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班									
S1	60	138	3	スギ	Trunk _{sc}	高知県民有林収穫表に 基づく方法	地域特定については保守性を考慮し、ふたつの地位間にある場合は低い地位とする。また、最低地位以下の場合については、モニタリング方法ガイドによる。 (想定吸収量算定は、スギ、ヒノキとも5等地とします。)	吸収量算定時	不要	7.9	スギ43年生 (2010年度施業)	
H1	61	138	3	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ43年生 (2010年度施業)	
H2 -1	85	137	1,2,3	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	4.6	ヒノキ51年生 (2010年度施業)	
H2 -2	113	137	1,3	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	4.9	ヒノキ44年生 (2010年度施業)	
H2 -3	114	137	2	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ45年生 (2010年度施業)	
H2 -4	118	137	1,2	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	4.9	ヒノキ44年生 (2010年度施業)	
S2 -1	112	137	1	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	8.0	スギ44年生 (2010年度施業)	
S2 -2	84	137	2,3	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	7.7	スギ51年生 (2010年度施業)	
S2 -3	115	137	2	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	7.5	スギ45年生 (2010年度施業)	
S2 -4	117	137	1	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	8.0	スギ44年生 (2010年度施業)	
H4	116	136	2	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	5.8	ヒノキ39年生 (2010年度施業)	
S3	145	134	2	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	8.4	スギ39年生 (2010年度施業)	
H5	146	134	2	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	5.8	ヒノキ39年生 (2010年度施業)	
S4 -1	123	82	1	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	7.9	スギ43年生 (2010年度施業)	
S4 -2	127	82	2	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	7.7	スギ53年生 (2010年度施業)	
S4 -3	135	82	2	スギ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	7.5	スギ46年生 (2011年度施業)	
H6 -1	124	82	1	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ43年生 (2010年度施業)	
H6 -2	128	82	1,2	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	4.6	ヒノキ53年生 (2010年度施業)	
H6 -3	120	82	1	ヒノキ	Trunk _{sc}			吸収量算定時	不要	8.9	ヒノキ29年生 (2011年度施業)	

III モニタリング詳細—各種係数—(方法論項目5)

(NO.5)

モニタリング ポイント No	小班名			樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認	計画値 [単位]	備考
	施業 NO	林班	小班								
H6 -4	129	82	2	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	4.9	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
H6 -5	130	82	2	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -6	131	82	2	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H6 -7	134	82	2	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ46年生 (2011年度施業)
H3 -1	97	137	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	4.9	ヒノキ42年生 (2011年度施業)
H3 -2	147	137	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	4.6	ヒノキ51年生 (2011年度施業)
H7	99	130	6	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
H8 -1	104	134	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ40年生 (2011年度施業)
H8 -2	105	134	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.8	ヒノキ38年生 (2011年度施業)
H8 -3	107	134	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.8	ヒノキ37年生 (2011年度施業)
H8 -4	110	134	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ43年生 (2011年度施業)
S5 -1	106	134	4	スギ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	8.3	スギ38年生 (2011年度施業)
S5 -2	108	134	4	スギ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	8.4	スギ37年生 (2011年度施業)
S5 -3	109	134	4	スギ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	7.9	スギ43年生 (2011年度施業)
S6	119	134	5	スギ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	7.7	スギ51年生 (2011年度施業)
H9	139	159	4	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	4.9	ヒノキ41年生 (2011年度施業)
S7	79	154	1.2	スギ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	7.5	スギ45年生 (2009年度施業)
H10	80	154	1.2	ヒノキ	Trunk _{sc}	幹材積の年間成長量		吸収量算定時	不要	5.0	ヒノキ45年生 (2009年度施業)

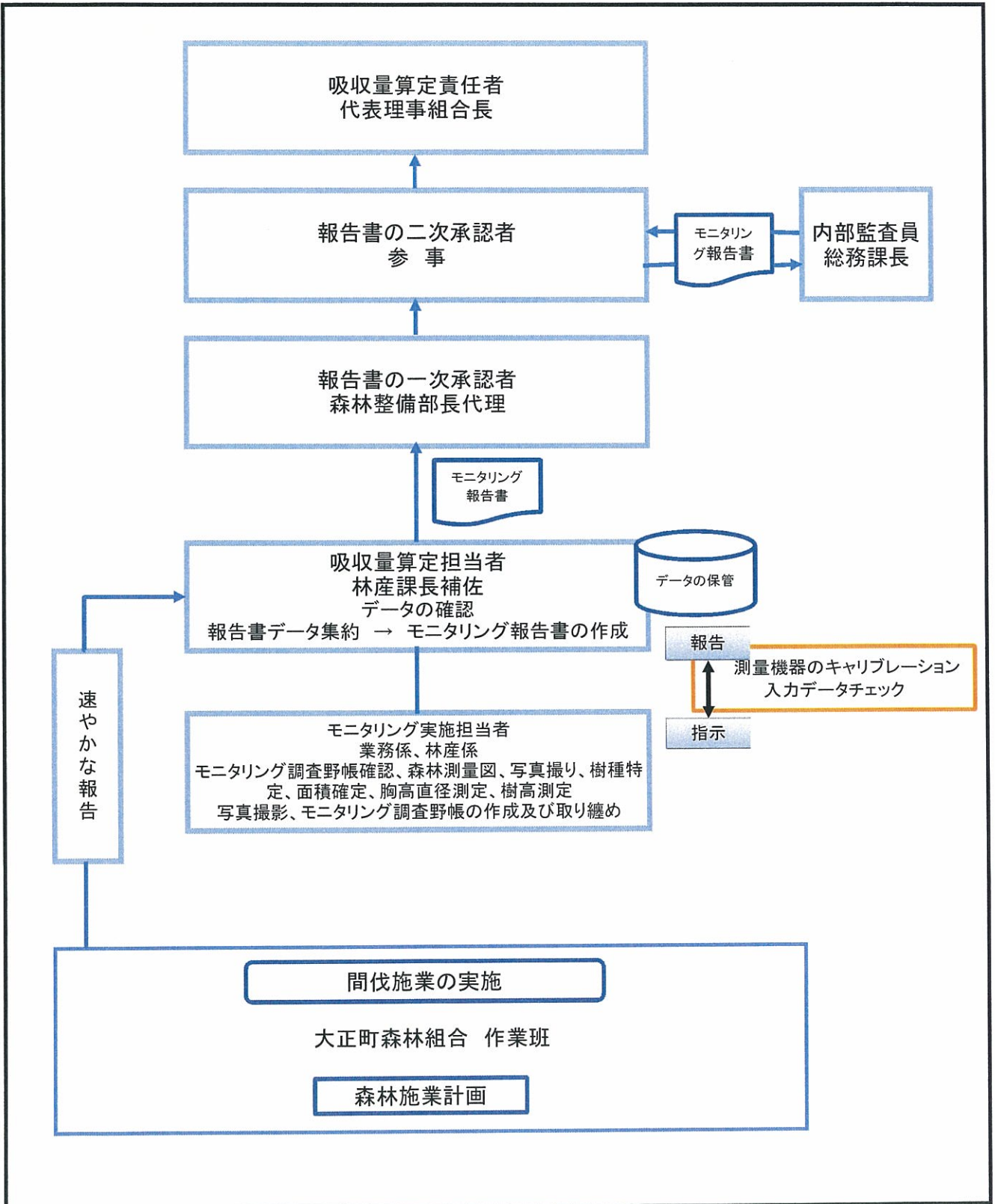
Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

(NO.6)

モニタリング ポイント No	小班名		樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
	林班	小班										
S1	138	3	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	対象森林の中央部付近で、平均的な樹高の立木10本を選定し、バーテックスIVで樹高を測定する。その中で最大樹高の長さを一辺とする正方形をプロットとし、ダイヤメータールール(胸高直径測定器)を用いて全木の胸高直径を測定する。胸高直径の中央部よりも大きな樹木の樹高をバーテックスIVで測定し平均樹高を算定する。	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	地位の特定については、保守性を考慮し、ふたつの地位の間にある場合は低い地位とする。また、最低地位以下の場合についてはモニタリング方法ガイドラインに準拠し、暫定的な地位級を特定したうえで作成された収穫表を使用する。
H1	138	3	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
H2	137	1,2,3	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
S2	137	1,2,3	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
H3	137	4	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
H4	136	2	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
S3	134	2	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
H5	134	2	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
S4	82	1,2	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
H6	82	1,2	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法		モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5	
H7	130	6	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		
H8	134	4	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		
S5	134	4	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		
S6	134	5	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		
H9	159	4	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		
S7	154	1,2	スギ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		
H10	154	1,2	ヒノキ	地位級	平均樹高	実測に基づく方法	モニタリング時に1回	○	2011/6/27	5		

IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



V. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

(1) 森林管理の方法

森林施業計画に基づき、適正に森林整備を行う。

大雨、台風、積雪の後には、対象森林を巡視し、災害等が発生していないか確認する。

なお、対象森林が罹災した時は、森林国営保険等を利用し、必要な処置をとる。

(2) 施業効率の改善

1. 県や四万十町、関連団体が主催する研修会に積極的に参加し、施業効率の向上を図る。

2. 林業労働災害防止協会等の主催する安全衛生に関する講習会に定期的に参加する。

(3) 機器の点検及びモニタリングに使用する機器の品質管理

モニタリングに使用する機器の品質管理としては、使用機器の取扱説明書を熟読し、毎測定前に取説に定められた方法で、別途校正仕様書を定め、校正を行い、記録しておくことでデータの精度を確保する。また、使用及びキャリブレーションの手順を定めることで高い精度を維持できるように努める。

(4) 担当者に対する教育/訓練計画の作成・実施

担当者については、制度の内容を習得、確認するため、年1回の教育・訓練を実施し教育記録を書面で保管する。

(5) 新規雇用者の教育

森林の管理は長期的な視野で取り組む必要がある。半面、林業従事者の労働災害は非常に多いのが現状である。このため、必要な資格の取得はもとより定期的な労働安全講習の受講をおこなうことで、安全性を確保し魅力ある就労環境づくりを目指すことにより、技術を円滑に伝達させていく必要がある。

特に新規雇用者については、業務に必要な資格の取得、労働安全講習の受講をすすめることで継続的で魅力のある職場環境を維持していく必要がある。

(6) データ・記録の保管・管理

原始記録(野外調査票など)及びその他記録類の管理については、大正町森林組合森林整備部が取りまとめ管理する。保管期間はプロジェクト期間終了後10年間とする。電子データについては、各担当でセキュリティ管理を行い、適正に管理する。

(7) データの確認

モニタリング実施担当者は、測定時に自己確認を行い、さらに、野帳記入時に確認する。

さらに吸収量算定担当者により、野帳からデータ入力時に確認を行うとともに、適宜つき合わせ等行う。

吸収量算定時には、吸収量算定担当者が自己確認を行い、さらに一次承認者が確認を行う。

(8) 計測器の維持及び校正管理

機器リスト、校正方法、許容精度、校正記録については、(3)及び(6)に定めるとおりとする。

(9) 法令遵守

以下の法令の許可、届出書の写しを提出することで確認する。

保安林内の作業許可(作業道開設、土地形質の変更)については、作業を行う14日前までに所轄する林業事務所長に許可申請を行う。

保安林内の間伐については、伐採を行う90日前から20日までに所轄する林業事務所長に伐採の届け出をおこない受理通知を受けて施業を実地する。

森林法第15条に定められた森林施業計画に係る森林の伐採等の届出については、施業完了後30日以内に四万十町長に提出する。

(10) 内部監査

業務が、森林施業計画書やモニタリング計画書に従って実施されていることを確認するため、プロジェクト内容について毎年度1回、モニタリング報告書全体については内部監査を実施し、監査記録を画面化する。

(11) 不適合処理、是正措置

内部で不適合が発見された場合は、すみやかに吸収量算定責任者である大正町森林組合長へ報告すると共に、再発防止策の検討をおこない是正措置を決定する。決定された是正措置についてはモニタリング体制図のとおり適正に修正、是正を行い吸収量算定責任者へ報告していくことで適切なプロジェクト実施に努めていく。

VI. 誤差の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング ポイント No	小班名		樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
	林班	小班		値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値 (m ³ /年)	誤差
S1	138	3	スギ	2.92	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.9	22.2%
H1	138	3	ヒノキ	3.89	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H2 -1	137	1,2,3	ヒノキ	6.19	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.6	22.2%
H2 -2	137	1,3	ヒノキ	3.18	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.9	22.2%
H2 -3	137	2	ヒノキ	1.80	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H2 -4	137	1,2	ヒノキ	2.19	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.9	22.2%
S2 -1	137	1	スギ	0.34	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	8.0	22.2%
S2 -2	137	2,3	スギ	1.13	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.7	22.2%
S2 -3	137	2	スギ	1.88	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.5	22.2%
S2 -4	137	1	スギ	0.18	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	8.0	22.2%
H4	136	2	ヒノキ	3.64	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.8	22.2%
S3	134	2	スギ	0.28	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	8.4	22.2%
H5	134	2	ヒノキ	0.36	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.8	22.2%
S4 -1	82	1	スギ	1.64	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.9	22.2%
S4 -2	82	2	スギ	1.48	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.7	22.2%
S4 -3	82	2	スギ	0.33	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.5	22.2%
H6 -1	82	1	ヒノキ	2.14	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H6 -2	82	1,2	ヒノキ	4.94	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.6	22.2%
H6 -3	82	1	ヒノキ	0.91	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	8.9	22.2%

モニタリング ポイント No	小班名		樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
	林班	小班		値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値 (m ³ /年)	誤差
H6 -4	82	2	ヒノキ	0.65	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.9	22.2%
H6 -5	82	2	ヒノキ	0.45	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H6 -6	82	2	ヒノキ	0.34	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H6 -7	82	2	ヒノキ	0.93	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H3 -1	137	4	ヒノキ	0.79	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.9	22.2%
H3 -2	137	4	ヒノキ	1.56	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.6	22.2%
H7	130	6	ヒノキ	1.10	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H8 -1	134	4	ヒノキ	3.73	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
H8 -2	134	4	ヒノキ	2.67	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.8	22.2%
H8 -3	134	4	ヒノキ	4.31	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.8	22.2%
H8 -4	134	4	ヒノキ	3.57	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%
S5 -1	134	4	スギ	0.88	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	8.3	22.2%
S5 -2	134	4	スギ	0.30	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	8.4	22.2%
S5 -3	134	4	スギ	1.12	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.9	22.2%
S6	134	5	スギ	0.76	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.7	22.2%
H9	159	4	ヒノキ	8.67	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	4.9	22.2%
S7	154	1,2	スギ	14.00	10%	1.23	1.10%	0.25	4.40%	0.314	2.50%	0.5	2.0%	7.5	22.2%
H10	154	1,2	ヒノキ	14.78	10%	1.24	1.60%	0.26	5.70%	0.407	1.70%	0.5	2.0%	5.0	22.2%

VI. 誤差の計算

全体の誤差 = 6.5%

モニタリング ポイント No	小班名		樹種	CO2吸収量/年			誤差		
	林班	小班		地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
S1	138	3	スギ	16.33	4.08	20.41	10.0%	22.9%	25.0%
H1	138	3	ヒノキ	17.99	4.67	22.66	10.0%	23.1%	25.2%
H2 -1	137	1,2,3	ヒノキ	26.34	6.84	33.18	10.0%	23.1%	25.2%
H2 -2	137	1,3	ヒノキ	14.41	3.74	18.15	10.0%	23.1%	25.2%
H2 -3	137	2	ヒノキ	8.32	2.16	10.48	10.0%	23.1%	25.2%
H2 -4	137	1,2	ヒノキ	9.92	2.57	12.49	10.0%	23.1%	25.2%
S2 -1	137	1	スギ	1.92	0.48	2.40	10.0%	22.9%	25.0%
S2 -2	137	2,3	スギ	6.16	1.54	7.70	10.0%	22.9%	25.0%
S2 -3	137	2	スギ	9.98	2.49	12.47	10.0%	22.9%	25.0%
S2 -4	137	1	スギ	1.01	0.25	1.26	10.0%	22.9%	25.0%
H4	136	2	ヒノキ	19.53	5.07	24.60	10.0%	23.1%	25.2%
S3	134	2	スギ	1.66	0.41	2.07	10.0%	22.9%	25.0%
H5	134	2	ヒノキ	1.93	0.50	2.43	10.0%	23.1%	25.2%
S4 -1	82	1	スギ	9.17	2.29	11.46	10.0%	22.9%	25.0%
S4 -2	82	2	スギ	8.06	2.01	10.07	10.0%	22.9%	25.0%
S4 -3	82	2	スギ	1.75	0.43	2.18	10.0%	22.9%	25.0%
H6 -1	82	1	ヒノキ	9.90	2.57	12.47	10.0%	23.1%	25.2%
H6 -2	82	1,2	ヒノキ	21.02	5.46	26.48	10.0%	23.1%	25.2%
H6 -3	82	1	ヒノキ	7.49	1.94	9.43	10.0%	23.1%	25.2%

モニタリング ポイント No	小班名		樹種	CO2吸収量/年			誤差		
	林班	小班		地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
H6 -4	82	2	ヒノキ	2.94	0.76	3.70	10.0%	23.1%	25.2%
H6 -5	82	2	ヒノキ	2.08	0.54	2.62	10.0%	23.1%	25.2%
H6 -6	82	2	ヒノキ	1.57	0.40	1.97	10.0%	23.1%	25.2%
H6 -7	82	2	ヒノキ	4.30	1.11	5.41	10.0%	23.1%	25.2%
H3 -1	137	4	ヒノキ	3.58	0.93	4.51	10.0%	23.1%	25.2%
H3 -2	137	4	ヒノキ	6.63	1.72	8.35	10.0%	23.1%	25.2%
H7	130	6	ヒノキ	5.08	1.32	6.40	10.0%	23.1%	25.2%
H8 -1	134	4	ヒノキ	17.25	4.48	21.73	10.0%	23.1%	25.2%
H8 -2	134	4	ヒノキ	14.32	3.72	18.04	10.0%	23.1%	25.2%
H8 -3	134	4	ヒノキ	23.12	6.01	29.13	10.0%	23.1%	25.2%
H8 -4	134	4	ヒノキ	16.51	4.29	20.80	10.0%	23.1%	25.2%
S5 -1	134	4	スギ	5.17	1.29	6.46	10.0%	22.9%	25.0%
S5 -2	134	4	スギ	1.78	0.44	2.22	10.0%	22.9%	25.0%
S5 -3	134	4	スギ	6.26	1.56	7.82	10.0%	22.9%	25.0%
S6	134	5	スギ	4.14	1.03	5.17	10.0%	22.9%	25.0%
H9	159	4	ヒノキ	39.30	10.21	49.51	10.0%	23.1%	25.2%
S7	154	1,2	スギ	74.34	18.58	92.92	10.0%	22.9%	25.0%
H10	154	1,2	ヒノキ	68.37	17.77	86.14	10.0%	23.1%	25.2%

VII 備考

添付資料一覧

誓約書	高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度利用に伴う誓約書
資料1-1	プロジェクト代表事業者等の紹介資料、及びプロジェクト事業者・参加者間の関係図
資料1-2	プロジェクトの対象となる森林を管理している主体の組織図
資料1-P	関連する許認可及び関係法令
資料1-S	補助金の受給を証明する書類
資料2	プロジェクト対象地が含まれている、市町村に認定された森林施業計画の写し
資料3-1	プロジェクト対象森林の森林計画図
資料3-2	プロジェクト対象森林の写真
資料3-3(1)	モニタリングプロットの設定方法及びモニタリングポイント位置図
資料3-3(2)	モニタリングポイントの位置を明示した図面
資料3-3(3)	モニタリングポイントの位置を明示した航空写真
資料3-E	持続性を担保することを証明する資料
資料4	高知県民有林収穫表
資料5	モニタリングに使用する機材の資料
別添資料1	森林施業計画全体の概要
別添資料2	想定吸収量算定表
提示資料1	内部監査規程
提示資料2	森林施業管理委託契約書
提示資料3	分収造林契約書
提示資料4	四万十川条例のあらまし
提示資料5	「コクヨー四万十・結の森」パートナーズ協定書
提示資料6	森の工場全体図
提示資料7	類似制度に基づく二重認証の防止について